

1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [火山砂防事業 (国補)]	事業箇所	甲斐市吉沢	地区名	吉沢 (キッサワ)	事業主体	山梨県																																																								
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																																											
①課題・背景				<table border="1"> <tr> <td>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</td> <td>妥当</td> <td>妥当でない</td> </tr> <tr> <td>砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</td> <td>妥当</td> <td>妥当でない</td> </tr> <tr> <td>砂防法第5条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>③経済妥当性</td> <td>妥当</td> <td>妥当でない</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>390 百万円</td> <td>工期</td> <td>R2~R9</td> <td>基準年</td> <td>R1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>336 百万円</td> <td colspan="2">便益</td> <td>981 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>336 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td>173 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td>66 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td>17 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td>725 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">2.9</td> <td></td> </tr> </table>				①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)	妥当	妥当でない	砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)	妥当	妥当でない	砂防法第5条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	③経済妥当性	妥当	妥当でない	総事業費	390 百万円	工期	R2~R9	基準年	R1		経済効率性	費用	336 百万円	便益		981 百万円		建設費	336 百万円	一般資産被害抑止	173 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	66 百万円			百万円	公共土木施設等被害	17 百万円			百万円	その他※	725 百万円		B/C				2.9		
①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)	妥当	妥当でない																																																													
砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																													
②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)	妥当	妥当でない																																																													
砂防法第5条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																													
③経済妥当性	妥当	妥当でない																																																													
総事業費	390 百万円	工期	R2~R9	基準年	R1																																																										
経済効率性	費用	336 百万円	便益		981 百万円																																																										
	建設費	336 百万円	一般資産被害抑止	173 百万円																																																											
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	66 百万円																																																											
		百万円	公共土木施設等被害	17 百万円																																																											
		百万円	その他※	725 百万円																																																											
B/C				2.9																																																											
<p>本業務の対象となる土石流危険渓流、吉沢は甲斐市吉沢に位置し、富士川水系の荒川に合流する流路総延長約3.2km、流域面積1.72km²の土石流危険渓流である。</p> <p>流域内には、崩壊による不安定土砂が河床に厚く堆積しており、巨礫も多数分布しており台風及び豪雨等の出水により、河床の不安定土砂による二次移動が予想される。</p> <p>下流には人家24戸、(主)甲府昇仙峡線(第二緊急輸送路)、耕作地があり、土砂流出による被害拡大の危険性が懸念される。</p> <p>現在、流域内には既設砂防堰堤1基、治山堰堤7基が設置されているものの、整備率は70%未満に留まっており、土石流が発生した場合、甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、既設砂防堰堤施設を改築し、土砂災害を未然に防止する必要がある。</p>				<p>※その他は人的被害(精神的損失)、応急対策(家計)</p> <p>費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている</p>																																																											
②整備目標・効果				④事業実施・規模の妥当性																																																											
<input type="checkbox"/> 主要目標 <input type="radio"/> 土石流被害の防止 <ul style="list-style-type: none"> 災害実績 無 整備前 整備後 土砂整備率 42% → 85% 流木整備率 17% → 96% 重要公共施設の有無 有((主)甲府昇仙峡線(第二次緊急輸送道路)等 (保全対象=人家24戸、県道295m、その他道路414m、橋梁3橋)) 				<input type="radio"/> <input type="checkbox"/> <p>流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である</p>																																																											
(2) 整備内容				⑤整備手法の有効性																																																											
①整備内容				<input type="radio"/> <input type="checkbox"/> <p>地形・地質及び流域の状況から、土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした</p>																																																											
1号砂防堰堤 1基 H=13.5m L=86m 2号砂防堰堤 1基 H=11.5m L=79m				⑥環境負荷等への配慮																																																											
②着手年度 令和2年度 ③完成見込年度 令和9年度				<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																																											
④総事業費 約390百万円 (国費215百万円(5.5/10)県費175百万円(4.5/10))				⑦事業計画の熟度																																																											
⑤年度別の整備内容 (事業費)				<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																																											
令和2年度 詳細設計・用地測量 30百万円				<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td>[貢献度ランク: a]</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) 事業位置図等</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> </table>				総合評価		[貢献度ランク: a]	(4) 事業位置図等																																																				
総合評価		[貢献度ランク: a]																																																													
(4) 事業位置図等																																																															
令和3年度 用地取得・立木補償 20百万円																																																															
令和4年度 砂防堰堤工事 60百万円																																																															
令和5年度 砂防堰堤工事 60百万円																																																															
令和6年度 砂防堰堤工事 60百万円																																																															
令和7年度 砂防堰堤工事 60百万円																																																															
令和8年度 砂防堰堤工事 60百万円																																																															
令和9年度 砂防堰堤工事 40百万円																																																															
※記載内容は見込みであり、確定したものではありません。																																																															
⑥既整備内容・期間・事業費																																																															
既整備内容 不透過型砂防堰堤 1基 既設流路工 320m																																																															
期間 昭和60年~昭和62年																																																															
事業費 139百万円																																																															

2. 添付資料シート

